

# 市民と力あわせて 政治を動かします

**日本共産党** 新後ゆき子



「国保の都道府県化」問題で石川県と交渉(平成29年7月)

## 共同広げ 実現

### 子ども医療費(18歳まで) の窓口無料が実現

一歩ずつ広げてきた医療費助成。2015年10月ついに窓口無料が実現しました。

**声** 子どもが3人。無料になって家計が本当に助かります。

**声** 離婚してパートで1人を子育て中。無料化は嬉しい。

### 場外車券場売り場 にストップ!

「子ども達の未来にギャンブル場はいらない」と市民のみなさんと一緒に頑張りました。



場外車券売り場反対で新日本婦人の会とともに市当局に申し入れ(平成28年9月)

### 市民+野党

### 「アベ政治ノー」の 共同が広がっています

- 14年総選挙** 沖縄で、野党共闘候補が全選挙区で自民党議員を破り勝利。翌年、県知事選挙でも勝利。
- 16年参院選** 野党共闘候補が11の1人区で勝利。
- 16年** 新潟県で「原発再稼働反対」の野党共同の知事が誕生。
- 17年** 都議選で市民の怒りが爆発。自民党を大敗北に追い込む。

## 確かな提案で 雇用を 守る

### 新病院建設で地元 に11億円の仕事が

加賀市医療センターの建設で、新後議員は「地元業者へ発注の拡大を」と市に要望。

そして市の建設協会にも呼びかけ、懇談。その後建設協会も市に要望し、地元の仕事が増えました。



### 保育士など非正規 職員の労働条件を 改善

新後議員は、市民のみなさんとともにくり返し市に要望。

### 労働基準監督署 までいって温泉旅館の 雇用を改善

「契約通りの時給が払われない」との訴えが。市が対応しない中、新後議員が直接、労働基準監督署に出向き、改善させました。

### 「住民が主人公」がモットー …企業献金も助成金も受け取りません

日本共産党のモットーは「住民が主人公」。政治を汚す企業・団体献金や政党助成金を一円も受け取りません。

### 主要政党の助成金受取額 (2016年)

自民党	175億円
公明党	30億円
おおさか維新	7億円
民進党	93億円
社民党	4億円
日本共産党	0円

## くらし 第一 で頑張ります

### 議会便りで、市民と一緒に

議会便りを毎回発行。市政を市民に知らせ、一緒にチェックしています。



### 本当に助かりました

年金も少なく、明日からの生活に悩んでいた時に、新後議員を知り、神に祈る気持ちで相談しました。すぐに時間をとっていただき、今の生活があります。本当に感謝でいっぱいです。

(75歳、女性)

### 新後さんと一緒に がんばります



衆院議員 藤野やすふみ 党新潟県常任委員 西沢 博 党加南地区委員長 本田正和

### 市議会議員に 望むもの

- 税金のムダ使いをチェックする……61%
- 市民の声をよく聞き議会に届ける……47%
- 市政や市議会の様子を知らせる……20%

(市民アンケートより、複数回答)

### 自民 公明

## これで市民の願いに応えられるでしょうか

### ●負担増に「みんな賛成」

- 介護保険料**: 5,550円→5,900円に引き上げ(基準額H27年3月議会)  
保険料は、発足当初の3250円から、2倍近くに。自民・公明の議員は引き上げに毎回、賛成です。
- 国保税**: 9万5千円→9万8千円に引き上げ(1人平均、H27年3月議会)

### ●国政では年金カット、消費税増税、医療・介護の改悪を強行

### ●大企業の固定資産税は免除

「市に進出する大企業の固定資産税を5年間免除する」条例を自民・公明の全議員の賛成で制定。(H28年3月議会) この条例によって、8千万円以上の税収が減少しました。

### ●市民の願いに背をむける ○:賛成、×:反対

	共産党	社民党	民進党	自民党	公明党
子どもの貧困解決、生活保護基準見直しの意見書(H27年9月議会)	○	○	○	×	×
年金支給開始の年齢引き上げ撤回を求める意見書(H28年12月議会)	○	○	×	×	×